

令和3年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 応募用紙

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん しにあのさいちゃれんじをしえんするかい				
団体名	特定非営利活動法人 シニアの再チャレンジを支援する会				
団体代表者名	岩熊 徹	活動 開始年 (和暦)	2017 年	メンバー 数	15 名
団体連絡先	〒 171-0044 住所： 東京都豊島区千早 4 丁目 38 番 5 号 ホリモトビル 101 いずれかに○をお付けください (代表者個人宅 ・ <u>団体事務所住所</u>)				
	T E L : 050-3700-5040		F A X : 050-3488-1763		
	ホームページ	https://senior-rechallenge.jimdo.com/			
	Eメール	seniorrechallenge2@gmail.com			
レポート 執筆者名	宮崎 弘行		レポート 執筆者役職	理事 (兼) 事務局長	
レポート執筆者 連絡先	T E L : 090-7272-4851		F A X : 042-382-7813		
	Eメール	Miyazakihiroyuki3@gmail.com			
これまでの受賞歴	としま情熱基金 審査員特別賞受賞 (2018年2月3日受賞)、ニッセイ財団「生き生きシニア活動顕彰」(2019年7月11日顕彰)				
活動分野 (複数選択可)	1. 環境・エネルギー 2. 子育て支援 <u>3.</u> 高齢者支援 <u>4.</u> 世代間交流 5. 食に関わる問題 6. 健康・医療 <u>7.</u> まちづくり 8. 地域資源 9. 防災・防犯 <u>10.</u> 交通・IT <u>11.</u> その他 (フィリピン山岳地帯の子供たちの教育支援)				
本賞を何でお知り になりましたか (複数選択可)	1. 読売新聞 2. NHK 3. 後援省庁・団体の出版物等 4. NPO・市民活動支援センター等 5. 募集チラシ 6. 情報誌「まちむら」 7. 当協会ホームページ <u>8.</u> 当協会からの案内メール 9. その他 ()				
活動テーマ (20字以内)	60代の若者が活躍できる社会を目指す活動				
活動の概要 (200字程度)	立教セカンドステージ大学の修了生である私たちは、人生 100 年時代を生きる都市型アクティブシニア(「60代の若者」)に対し、社会要請に応えるべきスキル向上機会の提供、就労マッチング情報の提供、そしてプロジェクト事業を通じて地域課題や社会課題を解決すべき活動の場を提供し、シニアがいつまでもアクティブであり続ける事を目指します。				

※応募の際は、この応募用紙のほかに、①応募レポート(活動内容と現在までの成果等を2,000字程度にまとめたもの)と、②写真(活動の様子がわかるもの5~6枚程度)を添付してご提出ください。

令和3年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 応募レポート

1. 団体設立の経緯

立教セカンドステージ大学の修了生である私たちは、長年勤務したシニアの方々が今まで培ってきた知識・経験・ノウハウ・特技・趣味等を生かし、これから必要とされる技能等を高め就労に備える為の学び直しの場の提供と、再活躍する為のマッチングの場の提供、そして私たち自身が直接活躍する場の提供を目的として NPO 法人『シニアの再チャレンジを支援する会』(略称“さいちゃれ”)を設立しました。

2. 団体の活動の目的

人生 100 年時代を生きる都市型アクティブシニア(「60代の若者」)に対して、社会に必要とされる人材としてのスキル向上機会の提供、就労マッチング情報の提供、そしてプロジェクト事業を通じて地域課題や社会課題を解決すべき活動の場を提供することを目的としています。

3. 解決すべき社会課題

脚本家の倉本聰氏は『60代の若者たちへ』のメッセージにおいて老いてフェードアウトしていく中で、大切なのは長く生きることより、どのように生きるかということと言っています。しかし、リタイアしたシニアを待つ現実、日がな一日行く場所もなく、結果として一日の多くを、テレビを見続ける姿というネガティブな調査結果も報告されています。これらシニアにとっては、活躍し続ける機会さえあればとの思いも強いが、現実には、過去の経験を否定されるような就業の機会にしかめぐり会えないことがその背景にあります。また一方では、小規模零細企業にとってはそんなキャリアを持つ人材が欲しいと言う現実も存在します。私たちがシニアと呼ばれる世代となり、社会活動参加や趣味で余暇を過ごす世代となった今、高いスキルを持ち、多様な価値観を持つ「60代の若者」にとっては、再度その能力を生かす場の提供や、再教育によって再度活躍するチャンスが得られるならば、社会から孤立することなく、活躍し続けることが出来ると私たちは思っています。

4. 社会課題を解決するには？

シニアが適切に評価され受け入れられる社会の必要性は、人生 100 年時代における少子高齢化社会への有効な対策として、徐々にではあるが浸透しつつあります。そんな社会情勢の中、私達の目指すシニアの為の 3 つの社会貢献事業モデル(「さいちゃれ教育でのスキルアップ」「マッチング事業でのスキルマッチ」「プロジェクト事業でやりがいある活動への参加」)を構築することは、高いスキルを持ち、多様な価値観を持つ「60代の若者」にとって、社会から孤立することなく、活躍し続けることが出来る社会を作ることへの有効な手段の第一歩であると考えます。

5. さいちゃれ活動実績(2019 年) *2017 年・2018 年活動については省略

東アジア文化都市 2019 豊島パートナーシップ事業への事業提案の採用は、年間を通しての中心事業として展開、その他特筆する出来事として、ニッセイ財団「生き生きシニア活動顕彰」(2019 年 7 月 11 日顕彰) の表彰 (Photo1)、メディアでの活動紹介として、NHKE テレ「あしたも晴れ! 人生レシピ」(2019 年 3 月 8 日放送)「人生豊かに! 学びを楽しむ」週刊教育資料(2019 年 5 月 27 日号)において、私たちの活動が紹介されました。

- ①「社会貢献で働く場のご紹介(マッチング事業)」として
 - ・新現役交流会 (経済産業省 関東経済産業局主催の活動)
経験を活かし中小企業支援をするための人材募集。
 - ・一般社団法人日本医療面接訓練評価センター
医療面接訓練士として活躍いただく人材の募集。
 - ・(株)LOCAL STAR *2019年新規紹介のもの
2020年2月協業開始、個人事業主と地域で後継者候補として輝きたい個人を結ぶ事業
- ②「プロジェクト活動」として
 - ・東アジア文化都市 2019 豊島パートナーシップ事業として次の3つの事業を展開。
 - (1)パラリンピック応援講演(5月25日) (Photo2)
*基調講演・パラアスリート講演・中国/韓国スポーツ紹介
 - (2)さいちゃれワークショップ(10月26日・11月2日・16日) (Photo3)
*世代間の不均衡等を考える(日・中・韓共通課題として留学生も交え開催)
 - (3)さいちゃれシンポジウム(11月30日開催) (Photo4)
 - ・プロボノ支援
WEBサイト構築、SNSサイト構築等作成支援 (受託2件、支援中1件)
- ③「さいちゃれ講座」として
 - ・IT技術の実務講座開講「Word」「Excel」「PowerPoint」
 - ・楽しみの場の提供(さいちゃれサロン)として下記講演開催
 - ・旅の楽しみ方・味わい方(2019年11月開催)
 - ・シニアのライフスタイル:92歳で若々しい語り口でビジネスに取り組む(2019年10月開催)

6. さいちゃれ活動実績(2020年)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの社会活動が停止。”さいちゃれ”でも、対面事業は、全ての活動を中止しました。そのような状況下においてもプロジェクト活動として、2020年6月「フィリピンに本をおくる会」と合流、「フィリピンに本をおくる会の活動」として”さいちゃれプロジェクト活動”として事業展開。当活動は、合流以前、高齢化により、その存続が懸念されていた状況もあり、実施プロセスは、その多くがアナログ対応でした。そこでコロナ感染下でも可能な活動として、次のとおりICT化とデータのナレッジ化を推進しました。

- ①「フィリピンに本をおくる会の活動」プロジェクト事業として (Photo5/Photo6)
 - (1)手書き翻訳ラベルのデジタル化(翻訳作業の効率化と、翻訳エラーの排除)
 - (2)翻訳ボランティアの国際化(フィリピン在住フィリピン人によるボランティア支援)
 - (3)翻訳作業のクラウド化(Gドライブを活用してのデータ共有)
 - (4)SNSを活用した現地ボランティアとのコミュニケーション(従来EMSを活用してのコミュニケーション)
 - (5)現地ボランティアへの支援金送金のオンライン送金(安全、安価なリアルタイム送金を実現)
 - (6)あむあむSHOP Open

その他特筆する事項として、プロボノ支援として、カンボジア「OSAKA Bakery」FBサイトの構築、2021年3月に実施された社会貢献見本市での受賞、

7.今後の活動計画

2021年私たちは次の活動を計画します。

- ①老朽化したマガタ第二図書館の再建計画を具現化します。(地元関係部門との調整・現地調査(フィリピンボランティアによる)・設計及び予算案作成) (Photo7)

* 2021年具体案立案・2022年再建の為の資金活動・2023年再建を計画

- ②前年開設した、NET SHOP を、若者たちも交え、本格運用を目指します。
- ③マッチング事業としては、新規マッチング事業との連携を目指します。
- ④さいちやれ講座については、コロナ終息の状況を見ながら、適切な時期に再開を計画します。